

子どもが育つ魔法の言葉/ドロシー・ロー・ノルト博士より

子育てワンポイント 励ましのことは6

「ありがとう！ えらいわ！」
りっぱにお手伝いができたら
こう言いましょう
そして、心から驚いてあげてください。



子どもが何かをきちんとなしとげたら、「やりとげられたのね。感心したわ」と言ってあげてください。これは子どもを勇気づける最高の方法です。「ちゃんと気がついていいる」ことを知らなければいけないのは、こんな時です。たとえば、親の指示を聞いたり、あきらめなないで努力したり、頼んだことをしてくれたり、時間通りにできたり、親が困っていた時に手伝いを申し出たり、親のアドバイスに注意深く耳を傾けたとき……。そう、認められ、ほめられることで子どもはすすくと成長してゆくののです。

それはなにも子どもだけにかぎりません。夫婦の間でも、感謝の言葉を述べあうのは大切です。夫婦の間でも、「ありがとう」と感謝してください。「すばらしい」とほめてください。これは二人のからだにも良い影響を与えることが医学的に認められています。

認められ、受け容れられ、ほめられることは、私たち人間の心とからだを癒す力があるのです。夫婦でも親子でも、どうぞ普段から、折に触れて感謝の気持ちを口にしてください。親は子どもが生きる態度を学ぶ時の手本です。

子どもが何かよいことをしたら、一生懸命お手伝いしようとしたら、はっきり言いましょう。「ありがとう、嬉しいわ」そして抱きしめてあげてください。

感謝すること、ほめること。分かっているでも忘れがち。大切にしたいですね。とくに今日は母の日です、「お母さんいつも本当にありがとうございます！」